

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020)7月31日

8月号

URL: www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』



本当の「お休み」

校長 富田 操

明日から、8月16日まで夏休みです。新型コロナウイルスの影響で、4月・5月と学校はお休みでした。「休業」という名前がついていましたが、この「休み」は子どもたちにとっては、本当の「楽しい休み」ではなく、じっと我慢を強いられ動くことのできないという意味での「休み」であったと思います。

この学校の休業期間を「喪失した時間」と表している記事を読みました。

千秀小学校でも、6月の学校のスタート時には、休業期間を「喪失をした」期間と捉えました。そのため、学校では、子どもが大きな喪失感をもつような大きな事件事故が起きた時等に行う「一人遊び」「一人学習」を取り入れたスタートプログラムを実施しました。

「失った学習時間」を取り戻すことも大切ですが、子どもの「失った気持ち」を取り戻すことが第一と考え、決して無理せず、ゆったりと時間を設定してこの2ヶ月間を進めてきました。

そういう意味でも、この夏休みは、子どもが、やっとなまこぎ、心から「休み」だと思える休みだと言えます。

もちろん、制約は様々あるので、今まで通りの夏休み、とはいかないと思いますが、ぜひ、子どもたちには、この2週間の夏休みを満喫してほしい、明るい日差しの中でのびのびと心と体を休ませ、そして動かしてほしい、そう願っています。

そのため、休みの期間も少ないことも考慮し、夏休みの課題も、例年に比べ詰め込みすぎない内容にしています。ただ、何もしなければ元気になるかという、そうでもなく、規則正しい生活をする、そして、子どもの安定的な生活には学習することも不可欠ですから、出された課題に取り組むこと、また、短い時間でも、何か夢中になって取り組むことも大切だと思います。

この夏休みが明けて、このまま学校を開き続けることができるなら、いよいよ本来の学校の活動がメインになっていきます。制約は相変わらず続いていきますが、感染防止に努めながら、学習に取り組んでいきます。

子どもたちの願いが込められた「学級名」のように

キラキラ虹のように輝き、わなげの輪のように丸くつながってモリモリと力を発揮し時にホッピングシャワーのようにはじける笑顔を見せながら、心の中にぽっと光を灯す花を咲かせ、希望の翼をもって大空にはばたくようなHEROになって、真っ白な心のキャンバスに思い思いの素敵な絵を自由に描き、どっしりと大地に足をつけ、そして踏ん張り、思いっきり体を縮めた後、宇宙まで飛び立っていける輝く光のような子どもたちに一人ひとりになっていく、そんな千秀小学校を今年度も目指していきます！！

短い夏休みですが、ご家庭や地域で、子どもたちのことを、いつものように温かく見守っていただけると幸いです。よろしく願いいたします。